



歯磨き中に歯肉から出血する人がいますが、それは歯肉炎や歯周炎に罹患している証拠です。そのことが現在だけでなく今後の口腔内環境の悪化を招いてしまうことをご存知でしょうか？ 今回は歯肉出血についてご紹介します。

**出血部位は2種類**

歯肉出血の出血部位は大きく分けて2種類、歯肉辺縁部と歯周ポケット底部です。歯肉辺縁部の出血は歯と歯肉の境目からの出血です。一方歯周ポケット底部からの出血は、プローブという器具によって歯周ポケット底部を触り深さを測定する(プロービング)際に出血を起こすかどうかで出血(BOP)の有無の評

価を行います。歯肉辺縁部からの出血ではその部位の歯肉縁上(歯面)にプラークが存在することを示し、歯周ポケット底部からの出血であればその部位の歯肉縁下(歯周ポケット内の歯面や歯根面)にプラークが存在していることを示し、それぞれその部位に炎症が起きていることを示します。

歯肉縁上のプラークや炎症の存在は出血だけでなく発赤や腫脹、染め出しなどで目に見えて容易に確認できますが、歯肉縁下のプラークや炎症はなかなか存在自体を把握することが難しく、その重要な指標の一つとなるのがポケット底部からの出血(BOP)になります。

ここで歯周ポケット底部からの出血とポケット内細菌の関係についての研究を紹介したいと思います。

【Bleeding on probing differentially relates to bacterial profiles: the Oral infections and Vascular Disease Epidemiology Study】  
 プロービング時出血が細菌の特性に關係しているかの疫学的研究  
 【目的】BOP(プロービング

時のポケット底部出血)の有無は、歯肉縁下の細菌叢が歯周病関連菌に占有されているかどうかを把握するための指標となるのかを調べる。  
 【対象と方法】対象は55歳以上の706名の患者(男性40%、年齢69±9歳、欠損歯数14±8本)。対象者のBOP、ポケットの深さ、および歯肉縁下の細菌叢が調査された。  
 【結果】(BOPの評価方法はBOP(%))=出血部位数/評価部位数×100で表します)BOPが45%以上になると歯周病関連菌の増加が有意にみられ、BOPが13%以下に低下すると健康な歯周ポケットにみられる細菌が有意に増加した。  
 【結果】BOPの有無から歯肉縁下の細菌叢が予測される可能性が示唆された。

**がんばろう日本 がんばろう福島**



長男と姪っ子

東日本大震災から2ヵ月が過ぎました。震災に遭われた方、その御家族の方へ心よりお見舞い申し上げます。私の義理の弟家族は福島県に住んでいるので震災に遭い、とても大変な思いで生活をしています。しかし、

この連休に会う事が出来、楽しい時間を過ごす事が出来ました。震災直後の弟家族はかなり落ち込んでいたのですが、少しずつ復興の道が見え始め、現実を前向きに捉えることができるようになり、以前にも増して精力的に仕事をし、地域の方々に貢献できるよう努力しているそうです。弟家族の元気な顔を見る事が出来て、私も元気を分けてもらう事が出来ました。震災直後の私は、震災の甚大さに呆然とし矯正歯科医として出来る事を見つけられず、被災された方々のお役に立てない無力感、通常通りの診療をしていて良いのかと言う疑問に答えが見つからず悩む毎日でした。しかし、ひるま矯正歯科には震災後も多くの患者さんが通院され、その患者さんの中にも御家族が東北の方、復興に従事されている方が多くいらっしゃいます。また、これから東北の復興に関する仕事に従事する方もたくさんいらっしゃるでしょう。このような患者さんの治療やメンテナンスにより健康を提供する事、より安全で安心な治療を提供するために努力を怠らない事が微力ながらも私たちの出来る貢献だと考えられる様になりました。私たちの貢献はとても小さなものですが、今出来る事をしっかりと見つめて1人でも多くの方の健康に貢献できるようがんばります。

**ヒルマヤスキのホッとひと息**

液の成分や性質の検査、虫歯検査、基本歯周検査)を受けていただいています。特に矯正治療を始める患者さんはBOPの値が下がり、歯肉の炎症がすっかり治ってから治療を始めています。矯正装置を装着することに よって、必ずプラークが付着しやすい環境に変化し、炎症が起こりやすい環境になります。炎症が起こったまま矯正治療を始めると、ただでさえ矯正治療前より歯磨きが難しく面倒になるのに、矯正治療前に炎症がある口腔環境が矯正治療中に改善される事はかなり困難です。そのため矯正治療中はずっと歯肉に炎症が続いてしまいます。矯正治療前に炎症を治すためにブラッシング指導やPMTTC、スケーリングなどの初期治療をしっかりと行い、矯正治療中もクリーニングを行うことにより炎症を防ぐことを心がけています。

**★ あしらせ ★**

- ◎5/23 より前日の日曜日に診療を行い翌日曜までに祝祭日などによる休診の無い週では、日曜診療翌日の月曜日は休診とさせていただきます。御理解の程お願い致します。
- ◎助手の窪田、吉田が退職しました。
- ◎産休を頂いていた受付の佐藤(旧姓:清水)、衛生士の兒玉(旧姓:會澤)が復職しました。